



(1,500円)

実用新案登録願

昭和50年4月24日

特許庁長官

殿

1. 考案の名称 ^{ナガサキ}薬液等の^{ヨウキ}容器

2. 考案者

住所 石川県^{カナガワ}金沢市^シ寺中町^{ジチュウマチ}ハ8番地

氏名 ^{アラ}荒井^{イチ}一郎^{ロウ}

3. 実用新案登録出願人 千920-03

住所 石川県^{カナガワ}金沢市^シ藤江町^{フジエマチ}ニの35番地

氏名 ^{シン}伸晃^{ケイ}化学株式会社

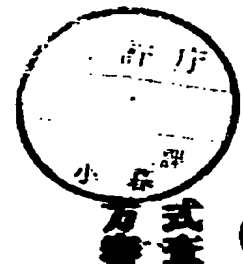
代表者 荒井 一郎



4. 添付書類の目録

- | | |
|----------|----|
| (1) 明細書 | 1通 |
| (2) 図面 | 1通 |
| (3) 願書副本 | 1通 |

50-056101



明 細 書

1. 考案の名称

薬液等の容器

2. 実用新案登録請求の範囲

内部を無塵もしくは無菌状態にした弾性の大きい内部空虚の合成樹脂製密封容器本体の上部を細頸部に形成し、この細頸部頂上に凹入部を設けこの凹入部の底を肉薄とした薬液等の容器

3. 考案の詳細な説明

本考案は内部を無塵もしくは無菌状態にした弾性の大きい内部空虚の合成樹脂製密封容器本体(1)の上部を細頸部(2)に形成し、この細頸部頂上に凹入部(3)を設け、この凹入部の底(4)を肉薄とした薬液等の容器にかかるものである。

本考案容器は第1図に示すように完全に密封されている。この容器を例えば製薬会社へ送り、そこで内部が無塵状態だけの場合は滅菌を施し、薬液（^{定使用}例えば目薬）の入り口（~~たびん~~）^についでいる注入針(5)の先を容器細頸部(2)頂上の凹入部(3)に入れ、凹入部底の肉薄部に突き刺し、容器内に薬液を注入する。（

第3図参照)

注入針を容器に突き刺すに当り、凹入部(3)があるので容易に突き刺す方向と位置が定まり、また薬液は、容器を逆さにして容器の側壁を押すことにより、注入針で明けられた孔から外部に押し出され、孔が中心から多少ずれていてもこの凹入部内壁によつて



点滴落下の方向が規正される。薬液が目薬の場合、第4図のように正確に所要の個所へ落下する。

また、凹入部底は肉薄であるから容易に正しく穿孔される。なお容器は無塵もしくは無菌であるから製薬会社で更めて洗滌その他の操作を必要としないので好都合である。

なお、図示のように容器の細頸部(2)と容器本体との間の外周にねじ部(6)を設けると、蓋(7)のねじをそこにねじ込んだとき、蓋の底部に設けた突出部(8)が容器細頸部頂上の凹入部に一杯に密嵌するようにする。

なお、容器内に入れる液は薬液とは限らず、例えば液体調味料のようなものでもよい。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案容器の縦断正面図、第2図は平面

(2)

図、第 3 図は内部に薬液を注入している状態の正面図で一部を切欠いて示し、第 4 図は薬液を点滴落下している状態の正面図、第 5 図は蓋を施した縦断正面図である。

図中 (1) … 容器本体、(2) … 細頸部、(3) … 凹入部、(4) … 凹入部底

実用新案登録出願人 伸晃化学株式会社

代表者 荒井 一郎



図 2

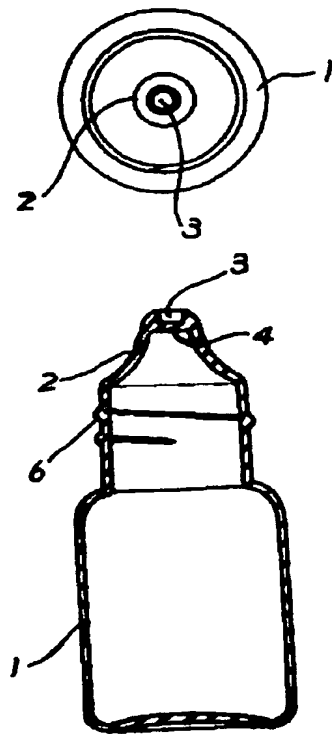


図 1

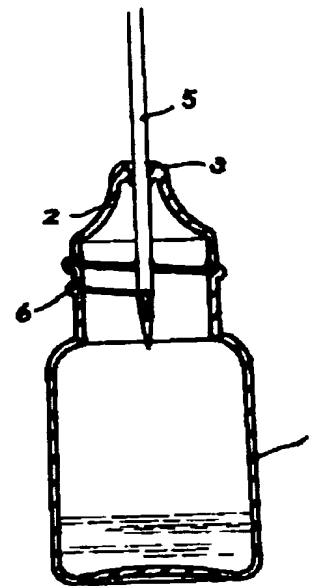
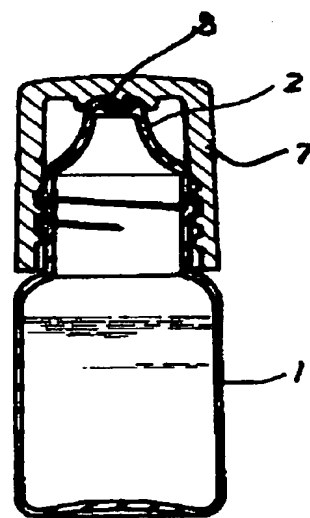
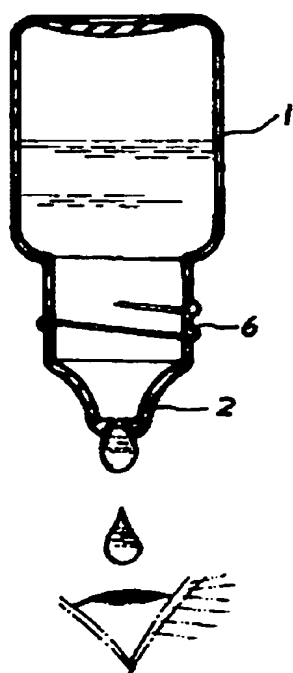


図 3

実用新案登録出願人 伸晃化学株式会社
代表者 荒井 一郎

才 4 圖



才 5 圖

實用新案登録出願人 伸晃化学株式会社

代表者 荒井 一郎

138446 $\frac{2}{2}$